

【総領事館からのお知らせ：安全対策情報：8月】

平成28年8月12日（総16第16号）

在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

(1) テロへの警戒

7月下旬、インドネシア治安当局は、MIT（東インドネシアのムジャヒディーン）のリーダーであるサントソを殺害したことを受け、同組織による報復の可能性があるとして、重要施設の警備を強化する旨発表しました。

テロはいつでもどこでも発生する可能性があります。引き続き、最新の治安情勢等の関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、特にテロの標的となりやすい場所（警察関係施設、ナイトクラブなど多くの外国人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

(2) デモに注意

最近、各地においてブノア湾埋め立てに対する抗議デモが頻繁に開催されています。デモが行われると交通渋滞が予想され、また何らかの混乱が発生する可能性もありますので、デモが行われている場所には極力近づかない、デモ隊を見かけたらその場から離れる等、安全確保を心がけてください。

2 一般情勢

(1) ひったくりに注意

当地警察は、特にクタ地域などの繁華街においてひったくりが頻発していることについて、警報を発出しています。右によれば、同地区などでは、ほぼ毎日のように外国人旅行者などに対するひったくりの被害が報告されており、特にスマートフォンなどを歩きながら操作しているところを、バイクに乗った賊にひったくられるケースが多数報告されているとのことです。所持品の管理に注意し、徒歩での移動の場合には周囲に十分警戒してください。

(2) デング熱

当地保健当局によれば、バリ州においては、本年1月から7月までに約15,000名のデング熱感染者が報告され、そのうち44名が死亡しています。最近2ヶ月の感染者はやや減少傾向にあるものの、地域別では、ブレレン県、デンパサール市などで感染者が多くなっており、引き続き注意が必要です。デング熱には予防接種もなく、蚊に刺されないようにすることが唯一の予防策です。防蚊対策を徹底し、体調管理により抵抗力を保つ等、予防に努めてください。

(3) 麻薬・薬物への注意

バリ州各地において、引き続き、インドネシア人、外国人を問わず麻薬・薬物関連の逮捕事案が続いています。インドネシア当局は薬物違反事件の摘発を推進しており、また、外国人に対しても死刑を含む重い判決を下すなど、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。麻薬・薬物には絶対に関与しないようにしてください。また、薬物が蔓延しているような危険な場所には近寄らないことをお奨めします。

(4) ロンボク島リンジャニ山噴煙の影響による空港閉鎖

ロンボク島リンジャニ山の噴煙の影響で、ロンボク国際空港が8月1日午後から2日午前まで閉鎖となりました。今後の状況にご注意いただくとともに、空港を利用する予定の方は、最新情報の確認をお勧めします。ロンボク国際空港 0370-6157000 ext108

3 邦人事件・事故関係

(1) 疾病での入院治療

在留邦人や旅行者が疾病等により入院治療が必要になるケースが数件報告されています。当地病院での治療・入院には高額な費用が必要となります。仮に保険への加入がなく、現金・クレジットカードの持ち合わせがないと重篤な症状であっても治療が受けられないことがあります。そのような事態に備え十分な補償の得られる海外傷害保険等に加入されることを強くお勧めします。

(2) ひったくり

- ・午前4時頃、旅行者がホテルへの帰路、クタ地区 Legian 通りを歩行中、後方からきたオートバイに財布、旅券等の入った肩掛け鞆をひったくられた。
- ・午前4時頃、旅行者がホテルへの帰路、クタ地区 Melasti 通りを歩行中、前方からきたオートバイに斜めがけした鞆を掴まれ引きずられ転倒、両腕・腰に擦過傷を負った。

(3) 集団スリ

午前2時頃、旅行者がホテルへの帰路、クタ地区 Legian 通りを歩行中、話しかけてきた男数人に囲まれ、肩掛け鞆から旅券、財布等を抜き取られた。

4 その他

「『在外邦人の安全対策強化に係る検討チーム』の提言」点検報告書

8月2日、外務省は「『在外邦人の安全対策強化に係る検討チーム』の提言」点検報告書を公表しました。この報告書は、在外邦人を取り巻く安全環境が一層悪化する中で、邦人がテロの被害に遭わないようにするための各分野の有識者の意見等を踏まえてとりまとめたものです。ご一読ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_003562.html